

平成27年度 学校評価結果報告書

学校法人 日高学園
聖ヶ岡幼稚園

当園ではこの度、平成27年度の学校評価として、教職員自己評価及び、関係者評価を実施いたしました。教職員一人ひとりが、自らの教育活動や園運営の状況を振り返ることで、自身や園全体を見つめ直すいい機会となりました。

また、評価結果について話し合うことにより、成果や今後の課題、改善の方向性などを明らかにすることができました。この評価の結果を深く受け止め、更なる教育活動の充実、教育環境の整備、教職員の資質向上に努めてまいります。

I. 教育目標

<p><目指す子ども達の姿> 明るく素直で思いやりがあり自主性のある子</p> <p>目指す子ども達の姿のために、日常の保育活動やカリキュラムの編成において、次の3点を常に意識して取り組みます。</p> <p>①感謝の気持ちで心から挨拶ができること ②協調性を基本にした自己主張ができること ③我慢ができ、やり遂げる力をつけること</p> <p>あいさつなど基本的な生活習慣を幼児期のうちにしっかり身につけておくことは、これからの子ども達の成長の上で大きな糧となります。時には厳しく叱り、時には論し、強く抱きしめる。私たち教職員は、本当の親子のような情緒的な信頼関係を築けるように努めます。</p>

II. 今年度の重点目標

<p>●教育課程・指導計画の充実及び周知 ●公開保育研修の実施・充実 ●教職員の資質向上 ●全体会議の活性化 ●保護者との連携の充実 ●未就園児保護者との連携の充実 ●安全管理体制の強化</p>
--

III. 取組み状況と今後の課題

自己評価項目		取組み状況	
1	教育課程・指導計画の充実及び周知	A	園の教育方針を理解しながら各学年主任を中心に指導に関する目的やねらいに対する話し合いがされており、先輩が後輩へ細かく指導をされているため、昨年度よりも進歩があったと思える。製作時の進み具合の確認も同学年でよくできている。 話し合ったことによって目的やねらいを共通させるだけでなく、保育の流れや方法までもが統一されがちになるので、それぞれに展開させていく部分も作ると良いように思う。先輩から後輩へという発信だけでなく、後輩からも自発的に確認したり話し合いの場を持てるように取り組む。
2	公開保育研修の実施・充実	A	年間で2回の公開保育を行い、終了後に学年で集まり、反省会を行った。保育を行った先生からその日の反省点と感想の発表から他の先生からアドバイスや感想を聞くというプログラムとし、若い先生は良かった点や改善点も分かりやすく理解でき、先輩の先生にも新たな発見があったようで、保育の質が向上したように思う。 公開保育は引き続き計画的に行うことを検討するが、大人が保育室にたくさん入ると子ども達は緊張してしまい、普段の姿が見られなくなると思えるので工夫が必要であると考えている。

平成27年度 学校評価結果報告書

学校法人 日高学園
聖ヶ岡幼稚園

自己評価項目		取り組み状況
3	教職員の資質向上	<p>A</p> <p>毎日書いている日誌を通して、クラスの状況を伝えるとともに、悩みや相談は直接学年主任にも話し、園長、主任に話すことができていたと思う。学年では全員で集まった時に子どものことを話し合い、情報共有できた。毎週開催する職員会議でも子ども達のことやクラスのことを話し合う機会を多くもっている。</p> <p>クラスの状況だけでなく、さらに多岐の分野にわたって話し合い、問題解決できる会議ができるように目指す。</p>
		<p>B</p> <p>次も頑張ろうと思ってもらえるように、その日にできるようになった事を子どもに分かるように具体的に褒めて、達成感が感じられる保育を心掛けた。</p> <p>鼓隊では難しい部分も覚えやすいようにリズムに言葉をつけて楽しんで取り組めるようにした。歌唱指導では発声練習を毎日行い、友達ときれいな声で合唱する楽しさを味わうことができた。</p> <p>歌唱指導や鼓隊指導においてもただ教えるのではなく、これらの活動を通じて何を学んでほしいのかを各先生が考えながら指導する必要がある。</p>
4	全体会議の活性化	<p>B</p> <p>会議の中で当番の先生に題目を決めてもらい、それについて一人ひとりに話してもらうことで、話すことや意見を持つこと、お互いを知ることにおいて効果が出てきており、雰囲気は良くなってきている。題目に関しても保育以外の内容が取り上げられることもあり、それを他の人に分かりやすく伝えるにはどうしたらいいのか、自分の考えを伝える練習にもなった。</p>
5	保護者との連携の充実	<p>B</p> <p>降園時になるべく直接保護者に伝えるようにし、親子当園など話す機会が多くある時に、子どもの様子を伝えて少しでも安心して預けてもらえるようになり取り組んでいる。保護者への報告後はクラス担当の全員に伝えるようにした。なにかあったり、子どもの成長があったりしたことを話し合っていることで、保護者と質の高いコミュニケーションができたように思う。</p>
6	未就園児の保護者との連携の充実	<p>B</p> <p>個人懇談では園での様子を伝えると共に保護者の方が日々悩んでいることについてお話をして頂いた。保護者の方が思いもよらない園での姿を伝えることで驚いたり喜んで安心されたりしていた。また、悩みを話した後、すっきりした表情で帰られていたので、悩みや問題が整理され、少しでも不安を取り除くことができて良かったと思う。</p> <p>個人懇談は希望者のみだが、希望されず相談されなかった方には後日お電話で様子を伝えるようにしている。日程の関係で懇談を希望されない方に声をかけるなどして、一人でも多くの保護者に安心感を得てもらうように取り組む。</p>
7	安全管理体制の強化	<p>B</p> <p>子ども達が理解し、怖がらないでスムーズに行える避難訓練を行う。また不審者が出た時の避難訓練をシミュレーションも含めて回数を増やす。</p> <p>避難訓練の回数を重ねるたびにスムーズに流れ、子ども達も落ち着いて行動できるようになった。</p> <p>パニックにならずに指示を聞けるようになるのは大事なことではあるが、慣れ過ぎてしまうと子ども達は思い込みで行動し、指示を注意深く聞くことができなくなると意味がないので、基本の流れを数回行った後は違うパターンで行うなど、災害に対する体制を整えて個人の意識を高める。</p>

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

IV. 次年度の取り組むべき課題

1	教育課程・指導計画の充実及び周知	若手教職員増員のため、園としてのあるべき姿やねらい等について再度意識づけを行う。
2	公開保育研修の実施・充実	客観的な視点で自身の保育を見つめ直す機会を検討し、保育の質の向上につなげる。
3	教職員の資質向上	「行動」だけを伝えるのではなく、「目的」を持って指導を行い、園児の成長を支援する。
4	全体会議の活性化	保育について先輩・後輩の双方向の意見交換ができるような風土作りに取り組む。
5	未就園児の保護者との連携の充実	一人でも多くの保護者に個人懇談でお話できるようにスケジュールングを工夫する。
6	安全管理体制の強化	避難訓練において様々なケースを想定し、どのような状況でも教職員の指示が聞けるように支援する。

V. 学校関係者の評価

興味を持って参加するために楽しい授業をモットーにしています。全身を使って教、踊りに興じ、異文化に触れ、一人一人が笑顔で聞く、話す授業を指導しています。

今後も日々の日誌を互いに共有し、子ども達の成長に役立てていただき、園・保護者・子ども達の関係がスムーズに活動できる環境を保ち続けてほしいと思います。

<評議員>

子ども達のために時間と努力を惜しむことなく費やし、職員一丸となって日々取り組んで頂いていることがしっかりと感じられ、自己評価も適切に行われていると思います。

保護者とのつながりを大切にされていて、そのつながりがあるからこそ保護者の方も安心して子ども達をお願いできるのだと感じました。今後の課題設定も細やかなところまで目を向けられていて、現状に満足することのない向上心が見受けられました。

先生方が担任以外の子ども達のことよく知っているような、昔ながらのアットホームな聖ヶ岡らしさも残っていて欲しいです。

<評議員>

園の教育方針に基づいた取り組み状況、成果、今後の課題等、具体的に細かく適切に自己評価されていると思います。定期的に行われる全体会議の活性化においても先生方で情報共有され、日々の保育だけでも大変な中、研修や保護者との連携など、積極的に耳を傾け取り組まれているようで、保護者としても安心して子ども達を預けることができます。何事にも誠実に対応して下さる園の姿勢に日々感謝の気持ちでいっぱいです。

今後も子どもと同じ目線に立ち、子どもの気持ちや変化に素早く気づき、向上心と目的を持って指導を行い、保護者と共に常に連携を取り、対応して頂きたいと願っております。

<保護者代表>

以上